

第3学年 算数科学習指導案

日 時 : 令和 年 月 日 () 第 校時
 対 象 : 第 学年 組 名
 授業者 :
 会 場 :

1. 単元名 「ぼうグラフと表」

2. 単元の目標

○身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理して、表や棒グラフを用いて分かりやすく表したり、読み取ったりすることができるようにする。

3. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・資料の分類整理、表や棒グラフにかかわる知識や技能などの有用さ及びそれらの性質や関係を調べたり、筋道を立てて考えたりすることの楽しさや良さに気付き、進んで生活に生かそうとする。	・資料を分類整理し、表や棒グラフに表したり、それらを読んだりすることにかかわる算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	・資料を分類整理し、表や棒グラフに表すことができるとともに、表やグラフから事象の特徴などについて読むことができる。	・資料の分類整理の方法、表や棒グラフの表し方、読み方を理解している。

4. 指導計画と評価計画 (全9時間扱い)

時	小単元	主な学習内容
1	整理のしかた	・資料を分類整理する容量と結果の表への表し方
2		・資料を分類整理して表に表す
3	ぼうグラフ	・簡単な棒グラフを読むこと
4		・数量が横軸に表されている棒グラフを読むこと ・1目盛りの大きさをとらえて、棒グラフを読むこと
5		・棒グラフのかき方
6		・棒グラフのかき方の練習
7 (本時)		・目盛りのとり方が違う棒グラフについての考察
8	表のくふう	・一次元表を組み合わせた簡単な二次元表を読むこと ・二次元表の有用性
9	まとめ	・学習内容の理解

5. 研究主題に迫るための指導の工夫 (授業観察の視点)

(1) 学びの個別最適化を図る (個に応じた学び)

個別学習ドリル (やる Key) を用いて、それぞれの学習の理解度に合った適用問題を行い、学習の定着を図るようにする。

(2) 学びの協働化を図る (対話・学び合い)

グラフに表すよさを知った上で、それぞれが縦軸のとり方をどのようにするのか判断し表現する場面を設定することで、考えを深める場面をつくる。

(3) ICT 機器や地域人材等の効果的な活用 (EdTech)

スクールタクトでグラフの縦軸の数値を分かりにくくすることで、全員が間違えそうな状況を作り、なぜそうなったのかを調べたいという意欲を喚起する。

(4) 授業のユニバーサルデザイン化 (視覚化・焦点化・共有化)

グラフを読み取る際の視点として、①1つのグラフの数値を読み取る。②2つのグラフを見比べる。③違うところや同じところはどこかを見つける。という段階を示しておき、全員が取り組めるようにする。

6. 本時の指導（7／9時間扱い）

(1) 本時の目標

○縦軸の目盛りのとり方によって、グラフの見方が変わることを知り、棒グラフについての見方や考え方を広げる。

(2) 本時の展開

課題把握	本時のめあて	棒グラフの見方を広げよう。
	本時の問題	2つの棒グラフを見比べて、いろいろな情報を読み取ろう。
見通し	(教師の発問)	カレーが好きだと答えた人数はどちらが多いでしょう。
	児童の反応	<p>北小も南小も同じだと思います。</p> <p>棒グラフの高さが同じだから、数も同じです。</p>
自力解決（表現活動）	※	<p>※ スクールタクトで棒グラフの縦軸の数字を見えにくくしておき、見た目だけでグラフを判断させ、敢えて間違いを誘発させる。</p> <p>※ 全員が間違えることで、スタートラインをそろえて、なぜそうなるのかを考えたいようにする。</p>
	見通し	<p>棒グラフの縦軸に注目することを全員で確認し、課題の解決の見通しをもつ。</p> <p>高さが同じなのに、数が違うのはなぜでしょう。</p> <p>縦軸の目盛りが違います。</p> <p>縦軸の目盛りをしっかり確認しないとけないんですね。</p>
学び合い	2つのグラフを見比べて、どのようなことが分かるのかをまとめていく。	
	自力解決	<p>縦軸が分かったので、2つのグラフを正確に取り、どのようなことが分かるのかを「短冊」に書きましょう。</p> <p>(分かったことの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の数は、南小学校の方が多い。 ・カレーが好きなの人数は南小学校の方が多い。 ・北小も南小もカレーが一番人気がある。 ・北小も南小もやきそばが一番人気がない。 ・あげパンが好きなの人数は北小と南小で1人だけ違う。 ・あげパンは北小の方が多そうに見えるけど、人数は南小の方が多い。 ・シチューは南小の方が人気がある。
まとめ・振り返り	※	<p>※まとめる際の視点として、「1つのグラフの数値を読み取る。」「2つのグラフを見比べる。」「違うところや同じところはどこかを見つける。」という段階を示しておき、取り組み方が分かるようにしておく。</p> <p>※グラフの読み取り方を間違えている児童には、机間指導をしながら指摘していく。</p>
	学び合い	<p>「短冊」を使って、分かったことを各班でまとめよう。</p> <p>(児童の反応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、カレーが好きなの人数は南小の方が多いうって書いているね。 ・一番人気があるのがカレーという見方をした人は少ないね。 ・あげパンはグラフだと北小の方が多そうに見えるけれど、実は南小の方が人数は多いんだね。
まとめ・振り返り	縦軸の違いと見え方についてまとめる。	
	学習のまとめ	棒グラフを読み取る時は、縦軸の数字にも注目することが大切である。
まとめ・振り返り	※	<p>※やる Key を行い、縦軸の違うグラフを読み取ることができるかを確認する。</p> <p>※ノートにそれぞれ今日学んで分かったことを書く。</p>

